

社会福祉法人更生慈仁会 令和6年度事業報告書

1. 監査

令和6年度監査（監事によるもの） 令和6年 5月10日
新潟市による法人監査 なし

2. 理事会

第288回	令和6年	5月17日
第1号議案	令和5年度事業報告認定の件	
第2号議案	令和5年度決算認定の件	
第3号議案	規程の制定と改訂について	
第4号議案	評議員会の招集について	
報告	理事長報告	
	事務局報告	
第289回	令和6年	11月20日
第1号議案	令和6年度第1次補正予算案について	
第2号議案	施設長人事について	
第3号議案	給与規程の変更について	
報告	理事長報告	
	事務局報告	
第290回	令和7年	3月21日
第1号議案	令和6年度第2次補正予算案について	
第2号議案	コンサルティング会社（日本経営グループ 株式会社日本経営）による支援導入について	
第3号議案	令和7年度事業計画について	
第4号議案	令和7年度予算案について	
第5号議案	規程の制定と改訂について	
報告	事務局報告	

3. 評議員会

第157回	令和6年	6月10日
第1号議案	令和5年度決算認定の件	
第2号議案	役員及び評議員等の報酬に関する規程の改訂について	
報告	事業報告	

4. 評議員選任・解任委員会

なし

5. 登記事項

- (1) 令和6年 6月18日登記
・資産の総額変更 令和6年3月31日資産の総額 4,961,470,907円

6. 許認可事項

なし

7. 届出事項

- (1) 時間外労働に関する協定届 令和7年3月（施設ごとに届け出）
(2) 就業規則等変更届 令和6年6月、令和6年11月、令和7年3月
（施設ごとに届け出）

8. 契約

- (1) カラー複合機（十字園、はまゆう）
(2) LED交換（にいつ愛慈）
(3) 車両リース（すずまり）
(4) 浴室改修工事（すずまり）
(5) ゴミステーション設置工事（本部）
(6) 勤怠システム（本部）
(7) 間仕切り壁接地工事（十字園）
(8) タブレット型PC10台（にいつ愛慈）

9. 人事

- (異動) 25名（昨年度33名）
・施設長 1名
・課長職（課長、補佐）3名
・他 21名
- (昇任) 4名（昨年度10名）
・課長職 2名
・主任 2名
- (役職変更) 3名（昨年度3名）
・再雇用（補佐を解く）2名
・再雇用（主任を解く）1名
- (採用) 47名（昨年度50名）
・正規職員 13名（昨年度11名）
・臨時、パート等 34名（昨年度39名）
- (退職) 45名（昨年度35名）
・正規職員 7名（昨年度 6名）
・臨時、パート等 37名（昨年度29名）

10.事業

【1】本部

(1) 事業整備 ※○数字は、事業計画の番号

①令和6年度末において、はまゆう短期入所事業、配食サービス及びすずまり巻(従たる事業所)を止める事とした。すべて当該施設長主導にてすすめた。採算性のみならず、将来の見通しや地域の福祉ニーズ等多角的な視点を入れ、判断した。人口減少や福祉ニーズの多様化等により今後も同様の事が生じる可能性がある事を踏まえ、各事業を検証しながら事業再編を念頭に置き、協議、検討していく。

(2) 人材確保・育成・定着

①令和6年度より 新たに「6~10年目」職員を対象にした研修体系を設定し、実施した。

⑤小学校における総合学習(ユニバーサルデザインについて)における特別授業や地域住民向けの講演会(障がいを知る)を行う事ができた。

(3) 組織のガバナンス強化

②新任職員研修をはじめ、6~10年目研修や主任研修、そして年度初め及び年始挨拶において法人理念や社会福祉法人の使命等を発信し、共有した。

(4) リスクマネジメント

①複数の事業所にて虐待や不適切な対応した案件が生じた事を受け、権利擁護部を中心にして自施設の状況確認及び職員研修会時に外部講師を招き、メンタルヘルスについて学ぶ機会を設けた。令和7年度では撲滅する事を掲げ、施設ごとの取り組みはもとより法人全体での取り組みもより一層力点を置いて取り組んでいく。

(5) 経営安定

②、③ 令和6年12月期現在 サービス活動収益が約19億6500万円(令和5年度比 約1億5000万円 増)、サービス増減差額 プラス 約1億7986万円(令和5年度比 約1億2300万円 増)であった。尚、新型コロナウイルス感染による利用控えは減少傾向にあった。良好な状況である。尚、令和6年6月より処遇改善手当を原則、全職員に支給開始した。

(6) その他

令和7年度より8年度までの間、コンサルティング会社(日本経営)からの支援を受けながら、雇用体系の方向性や役職定年制の導入等を協議、検討していく。又、協議、検討にあたり、令和7年度より法人内にてプロジェクトチームを立ち上げ、始動していく。

【2】十字園

【十字園】

- ① 障害者支援施設（生活介護、施設入所）
- ② 定員 100 人
- ③ 在籍 100 人（男 59 人、女 41 人）（令和 6 年度末現在）
- ④ 利用者の現況（令和 6 年度末現在）
 - 1. 療育手帳 A 98 人
療育手帳 B 2 人
 - 2. 利用者は県内 7 の市町村に及び、新潟市利用者が 96 人（令和 6 年度退所者含め）である。
 - 3. 年齢別では最年少 21 才、最高齢 74 才である。（平均年齢 53.3 才）
- ⑤ 職員（令和 6 年度末現在）
 - 施設長 1、サービス管理責任者 2、支援員 59（パート 7、嘱託 12 含む）、世話人 3、看護師 1、理学療法士 1、事務 3（用務員 1 を含む）、管理栄養士 2、雑務 4、嘱託医 1、産業医 1 計 81 名
- ⑥ 事業概要
 - 事業運営基幹事項
 - 1. 権利擁護：虐待防止早期発見チェックリストや複数の内部研修を行い、組織全体の権利擁護意識向上を図った。
 - 2. 権利擁護：後援会会長、オンブズマン等第三者に各種会議に参加してもらい多面的な組織運営を行うことができた。
 - 3. 人材育成：法人のキャリアビジョン表を活用し、自主的な勉強会を実施し、人材育成に努めた。
 - 4. 経営安定：シームレスな入退所、可能な限り断らない受入れを心掛け、地域ニーズへの呼応と安定した収入の両立に努めた。
 - 5. 経営安定：感染症に対して委員会、係が中心となり、研修や啓発を行い、発生したとしても最小限に感染を抑えながら、可能な限り地域ニーズに対応することができた。

【短期入所事業・日中一時】

- ① 短期入所及び日中一時利用者の受け入れ人数を各寮の人間関係や安全を重視し調整しながら受け入れに努めた。
- ② 短期入所者及び日中一時利用者の事故防止、安全確保を重点に対応、支援に努めた。
- ③ 職員の利用者情報共有を徹底するよう努めた。
- ④ 利用者本人や家族よりサービス支援計画の同意を得て支援の充実に努めた。
- ⑤ 利用者や家族からの意見に対して敏速な対応を心掛けた。
- ⑥ 短期入所の利用状況
 - 利用者数延べ 4,771 人（令和 5 年度 4,471 人）
- ⑦ 日中一時の利用状況
 - 利用者数延べ 1,383 人（令和 5 年度 1,636 人）

寄付 等

寄付金 総額	(160,000 円)
利用者家族（1名）様	150,000 円
土楽会様	10,000 円

【3】コスモス

①障害福祉サービス事業(生活介護、放課後等デイサービス事業)

②実施内容

1. 送迎、食事、入浴サービス
2. 日常生活における基本的な動作の支援
3. 療育活動（音楽・創作・体操・外気浴）の機会の提供
4. 健康管理
5. 相談及び援助等

③重点事項

（1）利用率の向上

目標の生活介護・放課後等デイサービス平均利用人数月平均10名を目指し実施した。令和6年度平均9.9名（令和5年度 平均9.7名）

- ・地域のニーズに積極的に応えられるよう利用調整を行った。
- ・相談支援事業所等関係機関へ現在の空き状況、ニーズアセスメントやコスモスの「強み」をPRした。

利用状況 利用者数 延べ 2,420人（令和5年度 2,362人）

- ・広報活動として、ホームページ掲載、ブログ投稿を行った。

（2）サービスの質の向上

- ・定期会議を四半期に1回開催し、サービスの振り返りを行った。
- ・利用者の個別支援の充実を図るとともに、全体での療育活動の予定を組みたてて行った。
- ・家族懇談会は令和5年度は中止（コロナ感染影響のため）としたが、令和6年度は10月に開催した。引き続き開催予定とする。

寄附金 なし

【4】青松ワークス

① 障害福祉サービス事業(就労継続支援B型、日中一時支援事業)

② 定員 就労継続支援B型 60人

③ 在籍（令和6年度末現在）

就労継続支援B型 63名（男35名、女28名）

利用者数 就労継続支援B型 延べ 13,490人（令和5年度 13,908人）

④ 利用者の実態（令和6年度末現在）

最年少 20歳

最高齢 70歳

平均年齢 45.6歳

⑤ 職員 (令和 6 年度末現在)

施設長 1、課長補佐 1、事務 1、支援員 14 (内嘱託 3、パート 3)、嘱託医 1 計 18 名
(育休 1 名含む)

⑥ 事業概要

1. 利用者の適性に合った作業の実施、開拓に努めた。
 - ア. トイレットペーパー『エコモア』の製造、包装作業、配達
 - イ. 各種受託作業
 - ウ. アルミ缶・古紙の回収
2. 施設外就労として保育所玩具の消毒や企業の清掃等を請け負った。
3. 大学・専門学校生等幅広く実習生を受け入れた。
4. 日中一時支援の受け入れを行った。
5. トイレットペーパー『エコモア』の売上目標を 4,600 万円と定め、総売上 46,947,188 円となり目標を達成できた。
6. 受託作業の年間収入目標を 520 万円と定めた。十字園の洗濯たたみや、はまゆうの清掃業務を請け負うことができ総収入 6,066,540 円と目標を達成できた。
7. 就労継続支援 B 型事業の平均工賃月額は 25,559 円となった。

⑦ 寄付金

- ・片山商事様 109,000 円

⑧ 桐の会協力費

- ・行事協力費 100,000 円
- ・施設協力費 100,000 円

【5】愛慈こども園

① 幼保連携型認定こども園

② 定員 129 人

③ 在籍 125 名 (男 68 名、57 名) (令和 6 年度末現在)

初日在籍数 年間 1,607 名 (令和 5 年度 1,471 名)

④ 児童の実態 (令和 6 年度末現在)

年齢別在籍数						計	延長保育 18:00~	障害児保育
0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児			
11	21	23	21	23	27	126	平均 12.4	5

⑤ 職員 (令和 6 年度末現在)

園長 1. 主幹保育教諭 2. 保育教諭 15. 保育士 1, 看護師 1. 栄養士 1. 事務 1

保育教諭短時間 5. 保育士短時間 4. 保育補助 (嘱託) 1. 保育助手パート 4.

調理員 2. 調理員パート 1. 栄養士 1. 土曜職員 1. 支援センター 4.

計 45 名

⑥ 事業概要

1. 乳児 (0 歳児) の年度途中の入園を積極的に行った。
2. 安心できる園として保護者との信頼関係作りに努めた。
3. 防災用具を備え、施設機能の強化を行った。

4. 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき学びを深めた。
5. 児童発達支援すみれとの連携を図った。

【6】児童発達支援すみれ

- ① 児童発達支援通所事業
- ② 定員 10人
- ③ 登録者数 22名（令和6年度末現在）
年間延べ人数 1,959人（令和5年度 1,798人）
- ④ 職員（令和6年度末現在）
管理者兼児童発達支援管理責任者 1. 保育士 6 計 7名
- ⑤ 事業概要
 1. 個々の特性に応じて支援及び療育を行った。
 2. 幼保連携認定こども園愛慈こども園との交流を図った。
 3. 防災用具を備え、施設機能の強化を図った。
 4. 積極的に保護者と懇談の場を設け交流を深めた。
 5. 療育支援活動について学びを深めた。
 6. 愛慈こども園との併用通園の児童を増やすことができた。

【7】特別養護老人ホーム（はまゆう）

- ① 介護保険法による指定介護老人福祉施設
- ② 定員 60人
- ③ 在籍 60人（男 9人、女 51人）（令和6年度末現在）
(ア) 性別・年齢別入所者状況（令和6年度末現在）
男性 9人（平均年齢 81.6歳）
女性 51人（平均年齢 89.1歳） 合計 60人（平均年齢 88.0歳）
(イ) 令和6年度 入退所状況
退所者数 32名 入所者数 32名 看取り介護実施数 30名
- ④ 職員（令和6年度末現在）
施設長 1、課長補佐 1、事務 1、事務パート 1、生活相談員 2、介護員（主任） 2、介護支援専門員（主任） 1、介護員 24、介護員嘱託 2、介護員パート 2、看護師（主任） 1、看護師 2、看護師嘱託 1、看護師パート 1、機能訓練指導員 2、管理栄養士 1、用務員嘱託 1、用務員兼務 1、嘱託医 1、産業医 1 計 49名
- ⑤ 事業概要
 - ・令和6年度は入退所者ともに 32名であった。
 - ・利用者の面会について、感染症対策や利用者の体調を考慮し臨機応変に対応し、できる限り面会の機会を持てるよう対応した。
 - ・家族会役員会、総会、懇談会（3回）開催することができた。
 - ・利用者が快適な生活を送る事ができるように、自立支援介護の実践に加え認知症チ

ームケア推進委員会を中心に認知症ケアの取り組みも行った。

- ・内外部研修を受講し、専門職としての知識及び介護技術の向上に努めた。
- ・利用者の安心安全な施設生活が継続できるよう、業務改善、職場環境の整備に努めた。
- ・12月～1月にかけて2階特養にて新型コロナウイルス蔓延に伴い、居室対応が続き、体調不良、状態低下、退所者も増加した。また感染症蔓延中の受入も難しく実績にも影響がでた。
- ・看取り介護の充実を図り、他職種が連携しその人に最期を支えられるよう努めた。また、看取り介護についての振り返りを重ねる事により、より良い看取り介護の提供についての職員意識も高める事ができた。

⑥ 寄付金

令和6年度寄付金

逝去された入居者家族1名様 500,000円

【8】特養併設短期入所施設（はまゆう）

- ① 介護保険法による指定(介護予防)老人短期入所生活介護事業所
- ② 定員 20人
- ③ 利用人数 延べ 6,005人（令和6年度）（令和5年度 6,535人）
- ④ 事業概要
 - ・丁寧な介助、言葉遣いを全職員が意識し、心掛けることができた。
 - ・利用者が望む在宅生活の継続ができるよう、利用者、家族、担当介護支援専門員と連携を図り、個別のニーズに合わせたケアや環境に配慮したサービス提供に努めた。
 - ・令和6年度新規利用者：35名（令和5年度新規利用者：33名）
 - ・事故リスクの意識を高め、その都度対応策を検討し評価を行い、事故防止を図った。
 - ・虐待事案1件（言動による利用者への心理的虐待）
該当利用者、家族への謝罪、今後の対応について説明を行い、当該職員への指導（JTシート・面談・研修等）、全体研修（虐待防止研修）を実施し再発防止を図った。
また、新潟市への報告を行い、通知書にて厳重注意の指導を受けた。
 - ・感染症予防に努めていたが、5月に新型コロナウイルスの蔓延、12月には、数名インフルエンザに罹患し、利用予定者のキャンセルもあり利用率が低下した。
 - ・地域ニーズに合わせたロングの利用を中心に調整し、上半期の平均実績は18.1、ロング利用者は平均14名。下半期は特養転換に向け、利用者の入れ替わりがあり、実績が低下した。（実績 令和6年度：16.6名）

【9】老人デイサービスセンター（はまゆう）

- ① 介護保険法による指定通所介護・介護予防通所介護相当サービス
- ② 1日利用定員30人（指定登録人数）
- ③ 令和6年度 利用人数 延べ 7,133人（令和5年度 7,049人）
- ④ 職員（令和6年度未現在）
施設長（兼）1、センター長（生活相談員）1、生活相談員（介護員兼務）3
介護員1、介護員嘱託1、パート3、看護師2（機能訓練指導員兼務）計12名
- ⑤ 事業概要
 - ・利用者一人ひとりの利用目的を職員が適切に把握した上で、利用目的に合わせた

- 個々の目標設定を行い、生きがいを持って参加できるデイサービスを目指した。
- ・機能訓練は在宅生活での課題に基づいた機能訓練メニューを実施し在宅生活を長く継続できるよう支援した。
 - ・口腔機能向上訓練を毎日昼食前に実施し、誤嚥性肺炎の予防や食事摂取量の維持・向上ができるよう支援した。
 - ・脳トレの要素を含んだ体操やプリント、季節感のあるレクリエーションを実施し、認知症予防に取り組んだ。
 - ・利用者の安全を第一に、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底した。
 - ・配食サービスを実施し、利用者の栄養面での一助となるよう努めた。
 - ・配食延人数 872人（令和5年度 1,869人）※令和6年度をもって廃止とした。

【10】居宅介護支援・在宅介護支援センター（はまゆう）

- ① 介護保険法、老人福祉法による運営事業
 - ② 職員（令和6年度末現在）
 - 管理者1（介護支援専門員兼務）、介護支援専門員3（うち嘱託1） 計4名
 - ③ 令和6年度 ケアプラン作成総合計 1,712人（令和5年度 1,635人）
 - ④ 事業概要
- (居宅介護支援)
- ・介護保険サービス等提供するための居宅サービス計画（ケアプラン）の作成及び事業所間、関係機関との連絡調整を行った。
 - ・地域包括支援センターから業務委託を受け、介護予防支援業務を実施した。
 - ・介護保険要介護認定申請代行を実施した。
 - ・介護保険施設等への入所支援を実施した。
 - ・苦情相談窓口を設置し、当該事業所及びサービスに関する相談を行った。
 - ・24時間連絡体制を確保した。
 - ・地域包括支援センターから紹介された困難事例を受け入れた。
 - ・伝達会議、計画的な研修を実施した。
- (在宅介護支援センター)
- ・地域高齢者とその家族への介護や日常生活における相談及び関係機関との連絡調整を行った。
 - ・地域との交流、地域の茶の間への参加、民生委員との連携を図った。
 - ・家族介護教室の開催
- 第1回：R6年6月17日（月）開催（参加者28名）
 内容：講義「意外と知らない薬の話 基本の使い方」
 講師：笠菊薬品（株）平島調剤薬局 斎藤 大幸氏
- 第2回：R6年11月22日（金）開催（参加者29名）
 内容：講義「ご存じですか？嚥下のあれこれ」
 講師：信楽園病院 言語聴覚士 栗原 かがり氏
- 第3回：R7年3月12日（水）開催（参加者16名）
 内容：講義「在宅療養を支える訪問看護」
 講師：西新潟中央病院訪問看護ステーション 看護師 成澤 秀子氏

【11】ケアハウス（はまゆう）

- ① 老人福祉法による軽費老人ホーム
- ② 定員25人
- ③ 在籍25人（男性5人 女性20人）（令和6年度末現在）
- ④ 職員（令和6年度末現在）
 - 施設長（兼）1、生活相談員1、介護員1、介助員パート2、事務1 計6名
- ⑤ 事業概要
 - ・入居者の方々が安心安全な生活を送れるよう、心身の状態を把握し、本人、家族、医療機関、ケアマネジャー等と連携し、早期対応に努めた。
 - ・入居者の健康増進の一環として、定期的に薬剤師に依頼し、健康チェックを実施した。
 - ・入居者の生活の充実を図る目的で、感染症予防対策を徹底した上で、レクリエーションや行事、図書の借り入れ、買い物支援等の取り組みを実施した。
 - ・定期的に居室点検を実施し、居室内設備の不具合の整備に対応した。
 - ・引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底に努めた。
 - ・退居者 4名（内訳：逝去1名、短期入所2名、医療機関1名）
 - 本人、家族、医療機関、ケアマネジャー等と連携し、退居後の相談支援を行った。
 - ・令和6度末現在 入居待機者 個室9名、夫婦部屋2組。

【12】新潟市地域包括支援センター小新・小針（はまゆう）

- ① 新潟市からの委託事業
- ② 職員（令和6年度末現在）
 - センター長（主任介護支援専門員）1
保健師2、主任介護支援専門員2、社会福祉士2.5
2層生活支援コーディネーター0.5（兼務） 計8名
- ③ 令和6年度 相談件数 11,622件（令和5年度 10,654件）
- ④ 事業概要
 - ・高齢者の「総合相談窓口」として、地域包括支援センターの知名度アップのための取り組みとして、広報誌の内容充実（包括の役割・介護予防・地域づくりに関する活動紹介・権利擁護等）を図った。広報誌の配布先では、圏域内の全自治会（92か所）に配布を行い回覧板に掲載、圏域内全世帯に広報誌を回覧した。また、今年度新たに配布先を5か所（調剤薬局、クリニック、集合住宅）拡大させた。
 - ・地域住民に向けた講話を13回実施。包括の役割・小新小針の紹介・介護保険制度や介護予防の啓発、在宅医療・介護連携の周知等を行った。
 - ・民児協定例会へ毎月参加し連携強化を図った。まち協・コミ協役員と連携し、自治会長対象の情報交換会・自治会お茶の間や民児協定例会での講話等の取り組みを行った。
 - ・支え合いの仕組みづくり推進員と協働し、各地区の第3次いきいき西区支え合いプランの目標達成に向けて、地域連携やネットワーク構築を行った。
 - ・自治会長、民生委員と地域の実情について情報共有をはかり、民生委員同行のもと高齢者実態把握訪問を行った。また、民生委員空白地の実態把握について、自治会長へ協力を求め、会長との同行訪問を実施することができた。
 - ・ケアマネ連絡会を活用し、ケアマネ・サービス事業所を対象に虐待支援における基礎知識と発見時の早期対応、生活困窮者への支援における専門職との連携、消費者

被害を受けた方の心の動きといった権利擁護に関する学習を行った。

- ・ケアマネ連絡会（事例検討会・勉強会等）を9回実施。

*令和6年3月現在、圏域内に25事業所、64名のケアマネ在籍。

- 1) 各居宅介護支援事業所紹介・意見交換会（5/20）
- 2) 事例検討会（6/13）
- 3) 事例検討会（9/21）
- 4) 事業所向け虐待対応研修（10/28）
- 5) 医療介護連携（12/3）
- 6) 消費者被害とその心理（12/17）
- 7) 身寄り問題・生活困窮（1/22）
- 8) 防災について～地域での取り組み～（2/19）
- 9) 事例検討会（3/17）

- ・新潟医療センターと協働し、医療センターと居宅介護支援事業所との事例検討会・意見交換会「こぼりの広場」を4回開催した。
- ・西区薬剤師会、圏域の主任ケアマネと協働し、薬剤師・ケアマネ・包括の連携に向けた研修会「地域をつなぐ勉強会」を1回開催した。
- ・個別ケースの検討や共有、包括内会議を定期的に行い、職種間の連携を図った。
- ・個別地域ケア会議2回開催。「人に頼れず我が強い高齢男性を精神障害の孫が共依存している家族の支援」について、「認知症の方が住み慣れた自宅で生活を続けていくための支援」について、個別事例検討及び地域課題の検討を行った。
- ・圏域地域ケア会議2回開催。青山地域と圏域内4地域にて「地域の高齢者を支えるためにできること～孤立死・孤独死社会における地域と関係機関との連携の在り方について考える～」をテーマに、支え合いのしくみづくりと協働で開催した。
- ・青山地域にて、地区組織や行政、介護・医療・福祉等の関係機関の協力を得て、はいかい模擬訓練（声かけ訓練）を1回実施した。
- ・医療機関、介護事業所、一般企業等と共に、スター☆カフェ（認知症カフェ）の運営を行った。

【13】小規模多機能ホームはまゆう小新南（はまゆう）

- ① 介護保険法による指定地域密着型サービス事業所
- ② 職員（令和6年度末現在）
管理者兼計画作成担当者1、介護員9、介護員（パート）1、看護師1 計12名
- ③ (ア) 在籍人数 登録者数 20人（男性6人 女性14人）（令和6年度末現在）
(イ) 年間登録者数 243件（平均20.2件）
登録終了者数 15件
(ウ) 利用延べ人数（通い、泊り、訪問）
男性1,793人 女性5,617人 合計7,410人（令和5年度 7,519人）

④ 事業概要

- ・住み慣れた地域での生活の継続を重視して、アセスメント、モニタリングを行いサービス調整に努めた。
- ・ケアの質の向上に向けた科学的介護情報システム（LIFE）を継続して活用し、利用者の健康管理や機能の維持向上に努めた。
- ・運営推進会議を隔月に行い、事業説明を行うとともに第三者の意見を取り入れ、サービスの内容の改善に努めた。また、地域との情報共有ができた。
- ・地域行事への参加や、事業所のイベントを開催した。地域との関係性を継続するため、広報誌の発行において地域住民に介護についての相談受付の記事を掲載し呼び掛けた。また自治会長や民生委員との連携・情報共有等を行った。
- ・サービス評価を実施し、課題解決に取り組んだ。
- ・月に1回程度、部署内研修を実施し、職員のスキルアップに努めた。また、認知症の方へのケアを身につけていく研修を継続的に実施した。
- ・自己チェックを実施し、職員の権利擁護への意識向上に努めた。
- ・近隣の病院や居宅介護支援事業所の一部、地域包括支援センターに資料を送付し、小規模多機能型居宅介護の支援内容及び自事業所の状況について伝えた。
- ・感染症対策を強化し、感染症防止策の徹底に努めた。

【14】 いづみ福祉園

① 生活介護事業、日中一時支援事業

② 定員30人 (日中一時支援は生活介護定員内)

③ 在籍44人 (男23人、女21人) 令和6年度末現在

利用者数 延べ 9,139人 (令和5年度 8,577人)

④ 入所者の実態 (令和6年度末現在)

最年少 19才

最高齢 63才

平均年齢 43.5才

⑤ 職員 (令和6年度末現在)

施設長1、課長補佐1、支援員7、支援員(パート)1、

事務1(JOIN 兼務)、看護師(パート)1、嘱託医1 計13名

⑥ 事業概要

1. 利用者本人の意思を尊重した支援に視点をあて、日々の活動を通して一人ひとりの自己実現を目指す支援に努めた。
2. 生活支援・作業支援を通して、より豊かな充実した日中活動の実現と自立を目指した。
3. 地域での作業活動や外出活動を通して、社会性や協調性を身につけると共に地域社会との関係作りに努めた。
4. 毎日の検温、園内の消毒・換気、手指消毒を行い感染症予防対策の徹底に努め

た。発熱・嘔吐症状が見られた時は、早めの医療受診や家庭静養等、保護者(家族)の協力を得ながら、感染症の予防に努めた。

5. 十字園での短期入所・日中一時支援サービスや相談支援事業ゆかり、及び各関係機関との情報共有及び連携を図りながら、利用者のニーズに沿った支援に努めた。
6. テイクオフの職員と連携を図りながら、GH利用者への敏捷な対応を図った。
7. 虐待防止・身体拘束適正化委員会を毎月開催。虐待防止のための計画づくりや身体拘束の適正化についての検討、マニュアルの作成と見直し、自己チェックリストの実施等を行い、職員の権利擁護に関する意識の向上を図った。
8. 火災・地震による津波・豪雨による浸水を想定した避難訓練やBCP研修を実施し、防災と安全対策に努めた。
9. インシデント・アクシデント報告をもとにリスクマネジメントに関する取り組みを実施した。

⑦ 寄付等

保護者会より、テレビ(利用者共有スペース用)、カラオケ(利用者レクリエーション活動用)、玄関通路間仕切りドア設置(防寒・防犯対策)、テント(ふれあいカーニバル等で使用)の寄付を頂いた。

【15】麦つ子ワークス

① 障害福祉サービス事業(就労継続支援B型、就労移行支援、就労定着支援)

② 定員(就労移行支援 6人 就労継続支援B型 34人、日中一時支援 4人)

③ 在籍 38名(男 25名・女 13名)(令和6年度末現在)

就労移行支援 0名(男 0名・女 0名)

就労継続支援B型 38名(男 25名・女 13名)

利用者数 就労移行支援 延べ 102人(令和5年度 1,128人)

就労継続支援B型 延べ 8,910人(令和5年度 8,615人)

④ 利用者の実態(令6年度末現在)

療育手帳 A18名・B20名・精神2名・身体2名

⑤ 職員(令和6年度末現在)

施設長1・課長補佐1・支援員9・(パート1・嘱託3)・事務1

運転員1・嘱託医1 計14名

⑥ 事業概要

〈就労継続支援B型〉

1. 個別支援計画に基づき、目標の実現に向けた利用者の支援に努めた。

2. 工賃支払に係る評価表の内容見直しや新たな作業を提案することで、働き方の選択と働く意欲の向上につなげることができた。

3. 職員に対し園内研修(権利擁護、災害対応、感染症対応)を計画的に実施することができた。

4. 施設外就労等により地域貢献・社会参加に努め、地域との連携を強化した。

〈就労移行支援〉

1. 就職に向けた訓練や職場実習等により自身の強み・弱みに気付きを与え自らが考えて行動できるよう促す支援を行った。
2. 職場実習またはトライアル雇用から就職に繋げる支援を行い、一般企業に1名就職することができた。
3. ハローワークや計画相談、特別支援学校とも新規受け入れについての相談と検討を行ったが、利用につなげることはできなかった。

〈就労定着支援〉

1. 就職後も面談や職場訪問を実施し、職業生活の課題の把握や解決に向けた職場定着を行った。（5名の職場定着支援を実施した）

⑦ 寄付等

寄付金

・巻ライオンズクラブ 様 30,000 円

【16】さくら草

- ①障害福祉サービス事業 [共同生活援助事業（介護サービス包括型）]
- ②入居者の状況（令和6年度末現在）
 - ・就労者2名、麦っ子ワークス在籍4名、すずまり在籍3名、他事業所在籍1名
- ③職員：世話人5、サービス管理責任者1（兼務）、生活支援員3（兼務）
- ④事業概要
 - 1. 帰省について個別に相談。家族の状況や入居者本人の希望なども踏まえ調整を行った。
 - 2. 買い物や余暇時間の過ごし方が充実できるよう、移動支援や関係機関との連絡調整を行った。
 - 3. 入居者に対し、火災や地震等を想定した避難訓練を実施し、非常災害時の対応について確認した。
 - 4. 世話人とバックアップ施設の職員に対し園内研修（権利擁護、災害対応、感染症対応）を計画的に実施することができた。
 - 5. 世話人の業務負担軽減のため、食材の宅配などの仕組みを導入した。
 - 6. 世話人とバックアップ施設の職員が十分なコミュニケーションを取り、業務を不安なく遂行出来るよう支援した。
 - 7. 毎月の運営会議を通して情報共有に努めた。

【17】すずまり

- ①障害福祉サービス事業（就労継続支援事業B型・生活介護事業）日中一時支援事業
- ②定員【就労継続】22人 【生活介護】18人、日中一時支援事業4人
- ③年度末の在籍【就労継続】22人（男17人 女5人）（令和5年度 23人）
【生活介護】22人（男10人 女12人）（令和5年度 23人）
- ④利用者の現況（令和6年度末現在）
 - 【就労継続】知的障害者22人
 - 【生活介護】障害支援区分 3…1人、4…5人、5…8人、6…8人
- ⑤職員（令和6年度末現在）
 - 管理者（サービス管理責任者兼務）1・職業指導員1
 - 支援員10（嘱託5・パート1含む）・事務員1
 - 運転員2（パート）・嘱託医1・看護師1（支援員兼務） 計17名
- ⑥事業概要
 - <全体>
令和6年度末をもってすずまり巻を廃止し、生活介護本体と統合した。
 - <生活介護>
 - 1. すずまり、すずまり巻それぞれの特色を生かし、利用者の障害種別や特性に応じた受け入れを行い、安心、安全に過ごすことができるよう支援を行った。
 - 2. 利用者の希望、要望を踏まえ、利用者自らが意思決定できるよう支援に努めた。
 - 3. 施設送迎を希望された方に対し、すずまり巻からすずまり本体への利用変更を行うことで要望に応えた。
 - 4. 週5日利用の新規利用者を3名受け入れたが、年度途中に5名の利用者が退所された。
 - 5. 機器の老朽化により、ストレッチャー式の特浴サービスを令和6年度末で終了した。
 - <就労継続支援B型>
 - 1. 受託作業を中心に施設外就労を積極的に行い、1万円を超える目標平均工賃を達成することができた。
 - 2. 意思決定支援により、4月から利用者1名が生活介護に移行した。
令和6年度の平均利用率は20.5人。昨年度より1名減の利用率となった。

【18】慈仁工房

- ① 障害福祉サービス事業（就労継続支援B型、就労移行支援）
- ② 定員 就労継続支援B型 25人
就労移行支援 6人
- ③ 在籍（令和6年度末現在）
 - 就労継続支援B型 37人（男32人、女5人）
 - 就労移行支援 1人（男1人）
 - 令和6年度の新規入所者 7人、退所者 4人
- ④ 職員（令和6年度末現在）

施設長 1、サービス管理責任者 1、支援員 7（常勤 4、非常勤 1、パート 2）
事務員 1（パート）

⑤ 事業概要

1. 利用者、家族の意向に沿った個別支援計画に基づき、関係機関と連携しながら支援を行った。また、工房だよりの発行や個別懇談への参加の働きかけ、家族懇談会、電話連絡等日々の家族との報連相に努め、本人・家族にとっての居場所づくりを目指し、満足度向上を図った。
2. 利用者の思いや要望を聴き取り支援に役立てる場としてのグループミーティングを毎月開催し、その内容を速やかに実現することで利用者の心の安定や居心地良い環境づくりに努めた。
3. 就職希望者に対する就労に向けた学習会の開催、企業見学や就職説明会への参加支援等を通じ、就職に向けた個々の意識の向上を図った。併せてらいふあっぷ等関係機関と連携して個別の就労支援を行った。また、毎週移行朝会を行い、作業や自身の生活の振り返りを行い、就職への心構えを養った。結果、延べ 2 名が就職した。
4. 目標工賃達成指導員を中心利用者への安定的な受託作業、自主製品製作作業の提供に努めた。また、受託先、顧客の意見を受け、作業方法の改善、質の高い製品作りに努めながら、利用者の作業支援を行った。
5. 平均作業工賃のアップを目指し、作業受託件数の拡大、作業単価の見直しに努めた。特に外作業の件数が伸びたこと、並びに清掃作業等単価が高い作業が集中したことで平均工賃は 16,000 円半ばまで上昇し、利用者の大いなる満足度向上に寄与した。就職定着者の確保や平均工賃向上が実現できたことで利用単価が上がり、施設収入の増加にも繋がっている。
6. 法人内研修、外部研修に参加すると共に、毎月、慈仁工房研修会を実施し、外部講師、法人職員、慈仁工房職員等が講師となって社会福祉に関する制度や就労支援、感染症等に関する学習を行う等、職員の資質向上に努めた。特に今年度は触法利用者の受け入れを試みたが、制度の理解と受け入れの実際について法人職員を含め多数の職員の本研修会参加があり、その後の本人対応を含めた実践に大きく役立った。
7. 地域の公園や海岸保安林の整備、企業や一般家庭の除草作業等、また、自主製品等の販売活動を通じて地域との交流に努めた。
8. 地域で生活する障害者について、関係機関と連携しながら見学、体験利用を積極的に受け入れ、本人の今後についての相談支援等に努めた。
9. 職員個々が施設の雰囲気づくりを意識し、通いやすい中にもけじめを持った職場づくりを心掛けた。精神的に強くなり、就職に向けた心構えやスキルの向上を通して自分自身に自信を持つ利用者が多くなっている。

⑥ 寄附等

9/4	五十嵐地区民生委員児童委員協議会様	現金 21,291 円
9/20	坂井輪商工振興会様	現金 22,519 円

【19】夕日の家こんぺいとう

- ① 地域交流事業
- ② 事業概要

1. 法人を含む希望団体や個人への貸し出しをし、地域交流の場としての活用をした。
2. 1階部分は椿の実採取や種取り作業時にいづみ福祉園の利用者が活用したまた園芸、除草作業を通してこんぺいとう周囲の環境・保安林整備に努めた。

【20】新潟市発達障がい支援センター「JOIN（ジョイン）」

- ① 相談支援事業
- ② 職員（令和6年度末現在）
管理者1（就労支援兼務）、相談支援兼就労支援1、就労支援1、発達支援1、相談支援兼発達支援1、臨床心理士1（月10回程度）、事務員1（パート） 計7名
- ③ 事業概要
 - 1. 発達障がい（診断の有無を問わず）児・者及びその家族等に対する相談支援・発達支援・就労支援を実施した。
 - 2. 当事者、家族、関係機関、一般市民等に対する普及啓発及び研修を行った。（JOIN 発達障がい講座の開催・読み書き支援ツール体験会 in アピタ西（新潟市ITサポートセンター共催で開催）・家族教室・働くを学ぶ基礎講座【学生向け・家族向け】の開催等）
 - 3. 新潟市ペアレントメンター事業事務局を新潟市より委託され、事業を運営した。
 - 4. 関係機関の会議に参加し、情報共有、連携を図った。
 - 5. 依頼のあった機関への講師派遣を行った。
 - 6. 当事者サロン、家族向けサロン・10代～20代の女性対象サロンを企画実施。
 - 7. 周知のため、パンフレット配布及びホームページによる各種の情報発信・世界自閉症啓発デーの普及啓発のため、ドキュメンタリー映画の配信上映・ピックスワンのブルーライトアップ（新潟県発達障害者支援センターライズと共に実施）

【21】にいつ愛慈こども園

- ① 幼保連携型認定こども園
- ② 定員 165 人

- ③ 在籍 170 人（男 92 名 女 78 名）令和 6 年度末現在
初日在籍数 年間 2,029 人 （令和 5 年度 2,047 人）

- ④ 児童の実態（令和 6 年度末現在）

年齢別在籍数						計	延長保育 18:00～	障害児保育
0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児			
9	24	28	36	35	38	170	平均 9.4	9

- ⑤ 職員（令和 6 年度末現在）

園長 1 副園長 1 教頭 1 主幹保育教諭 1 保育教諭 20 看護師 1 調理員 2
事務 1 保育助手 1 保育教諭パート 9 短時間保育士 1 保育助手パート 9
調理員パート 2 土曜日職員 1 支援センター 3

計 54 名

- ⑥ 事業概要

- 細やかに園の情報提供をおこない、保護者にとって安心できる園作りに努めた。
- 障がい児の交流保育に積極的に取り組み地域のニーズに応えることができた。
- 地域交流センターの行事活動に参加するなど、地域の方との交流に努めることができた。
- 園児に身近な野菜の栽培と調理保育を通して食に対して意識を高めた。
- 研修及び伝達会を行うことで共通理解を深めた。

【2 2】 らいふあっぷ

- ① 障害者就業・生活支援センター
② 職員 主任就業支援担当者 1、就業支援担当者 5、生活支援担当者 1
主任職場定着支援担当者 1

- ③ 事業概要

- 登録者の状況 1,404 人（令和 5 年度 1,350 人）
- 相談・支援件数（本人・家族） 3,914 件（令和 5 年度 3,654 件）
相談・支援件数（関係機関等） 2,069 件（令和 5 年度 1,918 件）
相談・支援件数（事業主） 2,327 件（令和 5 年度 2,223 件）
- 職業準備訓練・職場実習のあっせん状況 144 件（令和 5 年度 123 件）
- 就職件数 98 件（令和 5 年度 117 件）

【2 3】 障害者総合支援センター

【障害者居宅介護事業所わもっか】

- ① 新潟市地域生活支援事業（移動支援）
障害福祉サービス（居宅介護・重度訪問介護・行動援護）
福祉有償運送（新潟市福祉有償運送協議会）
- ② 職員

管理者（かりん・ゆかり兼務）1名、サービス提供責任者1名
支援員（かりん・テイクオフの支援員兼務）（嘱託職員4名含む）6名

③事業概要

- ・契約の際に利用目的や本人・家族のニーズを的確に把握するように努めた。
- ・利用者への対応の仕方や理解を深めながら支援に努めた。
- ・行動上著しい困難を有する人、自己判断が制限されている人を支援する際は常に事故、怪我の無いよう注意を払いながら支援を行った。また、継続的な支援も視野に入れながらの対応に努めた。
- ・福祉有償運送での移動の際における安全運転の遂行、及び諸安全事項の確認を重点事項として実施した。
- ・ケア会議等の出席、他関係機関との連携を図った。

④令和6年度利用件数 延べ1,528件（居宅273件・移動支援1,255件）

（令和5年度1,593件）

⑤新潟市福祉有償運送事業所連絡会への出席。（zoomにて1回）

⑥新潟市福祉有償運送協議会への出席（年2回）

⑦感染防止のため車内の消毒を行った。

【地域活動支援センターⅡ型かりん】

①新潟市地域生活支援事業

②職員

管理者（わもっか・ゆかり兼務）1名、支援員8名（テイクオフ・わもっか支援員兼務）（嘱託・パート職員5名含む）

③事業概要

- ・感染予防対策を継続した。
(手洗い誘導・手順の支援、座席配置、消毒液の設置等、日々改善を重ねた。)
- ・昼食を伴わない外出活動を再開した。
- ・利用者・家族の相談に応じ、生活状況から必要な際は、計画相談事業所や包括他事業所、職場や医療機関と情報共有し、継続的に対応を重ねた。

④令和6年度利用者数 月平均26.8人（令和5年度26.2人）

1日定員概ね15人 現在登録者数67人

令和6年度 新規登録者7人

利用中止休止届提出者28人

【テイクオフ】

①共同生活援助事業所「介護サービス包括型」(障害福祉サービス)

②職員

管理者・サービス管理責任者（生活支援員・看護師兼務）1名

生活支援員（かりん・わもっかの支援員兼務8名 内4名が嘱託職員）

③事業概要

- ・法人内通所施設との連携に努めた。
- ・夜間緊急時の対応がスムーズに行われるようマニュアルを作成し世話人との連絡調整に努めた。
- ・家族や成年後見人との連絡や移動支援その他のサービスとの連絡調整に努めた。
- ・利用者の金銭管理や適切な出納帳の管理を行い、家族、後見人の方への収支報告を行った。
- ・感染症・虐待防止についてチェックリストやマニュアルを基に、世話人全体会議で研修を行い、職員への周知を促し、意識改革に努めた。
- ・家族状況の変化に伴い、後見制度の利用支援を行った。
- ・食事提供体制の見直しを行い、業務的改善に努めた。
- ・地震や感染症の集団発生に対応し、平時から備えておくべきことを検討した。

④各グループホーム利用者数

- ・令和 6 年度 退所 1 名（女性 1 名）
入所 2 名（女性 1 名・男性 1 名）
- ・在籍者 23 名（男性 10 名・女性 13 名）

【障害者相談支援センターゆかり】

①特定相談支援事業・障害児相談支援事業（障害福祉サービス）

②職員 管理者 1 名（兼務）・相談支援専門員 4 名

③事業概要

- ・相談者・家族・保護者に制度の説明や事業の手順などを分かり易く説明した。
- ・各障害福祉サービス事業所、学校、職場、自宅などに出向き本人を取り巻く環境に配慮した計画を作成するよう心がけた。
- ・各関係機関との連携を密にし、相談者の希望に即した計画を立てるように努めた。
- ・電話による相談、トラブル等の相談にも応じ相談者との信頼関係を構築した。
- ・新潟市や西区の研修に参加し他事業所との連携を積極的に図った。
- ・新潟市地域生活支援拠点等事業者として登録し、連絡調整会議に参加し情報共有等を行った。

④令和 6 年度： 指定特定相談支援： 計画作成 24 件・モニタリング 589 件

計画 + モニタリング 263 件

指定障害児相談支援： 計画作成 23 件・モニタリング 119 件

計画 + モニタリング 55 件

【新潟市障がい者基幹相談支援センター中央】

① 総合相談・専門相談対応に努めた。

- ② 地域の相談支援体制の強化に努めた。
- ③ 地域移行・地域定着の促進に努めた。
- ④ 権利擁護・虐待の防止に努めた。
- ⑤ 療育等支援事業にかかる事業に努めた。
- ⑥ ともに生きるまちづくり条例施行に向けた研修・啓発活動に努めた。

◆重層的な相談支援体制において

〈第3層〉 地域における相談支援体制の整備や社会資源の開発

〈第2層〉 一般的な相談支援

〈第1層〉 基本相談支援を基盤とした計画相談支援

※基幹相談支援センターの第1～3層まで全てに関わるが、
主たる活動は第3層、第2層を担った。

相談件数	5,679 件 (R5 年度 5,615 件) 昨対比 101%
新規相談件数	363 件 (R5 年度 387 件) 昨対比 93%
実人件数	546 人

1.1.苦情処理の状況 苦情3件

施設	十字園
処理件数	1 件
苦情内容 及び結果	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月：短期利用者ご家族 利用中の受傷について <p>【対応・結果】</p> <p>要因：説明不足、サービスの質の問題</p> <p>対応：謝罪、受傷の経緯説明、改善策の提案・実施</p> <p>⇒ご納得頂く</p>
施設	特別養護老人ホームはまゆう
処理件数	1 件
苦情内容 及び結果	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面会制限についてご指摘あり。 <p>【対応・結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の面会対応、感染状況を考慮し、検討会を実施。 <p>改めて感染症蔓延に伴うリスクを考慮しつつ、面会制限の緩和について感染状況をみながら、都度検討していく旨をお伝えする。</p>
施設	障害者就業・生活支援センター らいふあっぷ
処理件数	1 件

苦情内容 及び結果	<p>【内容】</p> <p>登録者より「面談した際に担当職員から説教を受けた気持ちになり、過去の心の傷まで蘇ってきて不安定になった。らいふあっぷの利用を辞めたい。自分が良いと思ってやってきたことを完全批判された。（担当職員に対し）嫌いだ。謝っても許しませんから死ねや。」のメールが届く。</p> <p>その後も、担当職員に対する誹謗中傷メール、SNS(Googleの口コミ、X、インスタ)に担当職員の名刺をアップし、誹謗中傷を繰り返していた。</p> <p>【対応・結果】</p> <p>面談の際には新潟市障がい福祉課が発行している「はたらくためのガイドブック」に沿って説明したところ、当該登録者は否定されたと捉え、担当職員に対しメールやSNSによる誹謗中傷が繰り返された。自宅訪問し、経緯を説明したところ一旦はSNSの書き込みを削除したがその後も同様のことが繰り返されたため、顧問弁護士に相談。顧問弁護士名で当該登録者宛てに警告文を送付。その後、SNSの書き込みは全て削除され、現在も書き込みはない。</p>
--------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【利用率】

①-A障害

月の実働利用者数/月の稼働日数

事業所	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度 平均
十字園施設入所	100	95.0	94.5	96.3	96.7	95.1	96.4	97.6	96.6	95.2	94.3	96.0	96.0	95.8	97
〃 生活介護	100	98.7	97.6	108.3	98.8	102.0	102.7	100.3	99.2	104.3	94.1	98.3	106.0	100.9	98.8
〃 短期入所	10	11.7	12.5	13.4	13.4	13.6	13.4	13.1	9.8	8.9	8.9	8.3	8.4	11.3	12.2
コスマス生活介護	10	7.9	7.7	7.9	8.1	8.3	7.9	7.9	8.2	8.0	8.1	7.9	8.2	8	7.6
コスマス放デイ		2.0	2.2	2.0	1.7	1.7	1.8	2.0	1.8	1.8	1.8	2.1	1.7	1.9	2.1
いづみ	30	30.4	31.6	29.3	30.0	28.0	33.6	32.7	32.4	31.7	31.6	30.6	32.3	31.2	29.2
ティクオフ	24	21.4	21.1	21.3	21.1	20.8	19.5	19.5	20.1	20.7	21.6	22.1	22.1	20.9	22
かりん	15	27.4	26.9	27.6	27.6	21.3	26.5	26.3	26.5	27.7	27.3	27.0	28.8	26.7	26.2
青松 就労B	60	47.0	49.9	46.9	47.5	36.6	49.1	49.0	47.8	44.7	45.2	45.1	46.4	46.3	47.6
麦っ子就労移行	6	1.5	1.1	0.1	0.6	0.2	0.7	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	4.2
〃 就労B	34	34.6	32.2	34.5	35.3	26.6	33.0	36.2	34.7	32.5	32.0	33.2	32.9	33.1	32
さくら草	10	8.7	8.0	8.6	9.1	8.6	9.1	9.2	8.9	8.8	8.8	9.3	9.0	8.8	8
工房 就労移行	6	0.9	1.0	1.2	1.4	1.0	1.3	1.5	1.0	1.0	1.0	0.9	0.2	1	1
〃 就労B	25	22.3	21.6	21.3	22.0	19.9	20.4	22.2	22.0	22.1	22.2	22.1	23.7	21.8	23.0
すすまり生活介護	18	15.9	15.5	15.9	14.9	15.1	15.2	14.4	13.8	14.2	13.4	13.3	14.6	14.7	12.9
〃 就労B	22	21.1	20.5	20.9	21.0	18.9	20.5	21.0	19.8	20.6	20.3	20.7	20.7	20.5	21.1
すみれ	10	6.9	7.7	8.2	8.3	7.6	7.9	8.6	8.4	8.5	8.0	7.8	8.6	8.0	7.4

件数

事業所		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度 平均
わもっか移動支援		93.0	78.0	127.0	116.0	117.0	86.0	110.0	98.0	116.0	119.0	96.0	99.0	104.6	85.8
居宅介護		31.0	38.0	40.0	44.0	37.0	41.0	28.0	3.0	3.0	2.0	3.0	3.0	22.8	46.9
重度訪問		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
行動援護		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

②高齢

月の実働利用者数/月の稼働日数

事業所	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度 平均
はまゆう特養	60.0	60.0	59.8	59.4	59.6	59.4	60.0	59.8	59.3	59.2	51.9	56.4	59.8	58.7	59.9
ケアハウス	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25	24.9
短期	20.0	19.2	15.3	18.4	17.9	19.0	18.8	18.4	17.6	13.3	11.1	13.5	17.0	16.6	17.8
デイ	30.0	25.1	24.5	22.7	24.0	23.2	24.8	23.0	22.0	22.6	22.6	21.0	21.5	23.1	22.6
居宅	140.0	142.0	148.0	146.0	146.0	141.0	141.0	140.0	144.0	149.0	144.0	143.0	133.0	143.1	136.3
小規模	25.0	21.0	20.0	19.0	18.0	18.0	21.0	23.0	21.0	21.0	20.0	21.0	20.0	20.3	20.5

③児童

月の初日の利用者数

事業所	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度 平均
愛慈こども園	125	118.0	118.0	120.0	121.0	123.0	124.0	126.0	126.0	126.0	126.0	126.0	126.0	123.3	122.5
にいつ愛慈こども園	165	167.0	168.0	168.0	168.0	169.0	170.0	170.0	170.0	170.0	170.0	170.0	170.0	169.2	170.6

④相談 件数、回数

事業所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	前年度 平均
ゆかり															
者計画数	3	0	2	3	0	2	3	1	1	4	4	1	24	2.0	1.8
者モニタリング数	65	35	50	45	48	52	52	42	55	44	50	51	589	49.1	53.7
者計画・モ数	33	22	23	22	25	25	21	18	15	21	19	19	263	21.9	23.1
児計画数	12	1	0	1	0	2.0	4	1	0	1	0	1	23	1.9	0.8
児モニタリング数	23	11	11	4	4	9	7	9	16	6	4	15	119	9.9	8.8
児計画・モ数	3	5	7	4	0	6	5	11	6	3	0	5	55	4.6	5.5
合計	139	74	93	79	77	96	92	82	93	79	77	92	1073	89.4	93.6
ジョイン															
相談支援	271	264	224	186									945	236.3	373.3
発達支援	0	0	3	49	223	237	246	221	219	216	209	244	1867	155.6	5.3
就労支援	41	41	33	41	48	43	61	53	38	44	42	47	532	44.3	51.6
研修主催	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.1	0.2
研修共催	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2	0.1
講師派遣	1	0	0	0	5	3	4	7	1	3	0.0	1	25	2.1	2.1
関係機関等調整	2	4	2	2	2	2	2	2	1	1	2.0	3	25	2.1	3
個別支援等調整	1	3	2	1	0	0	1	0	0	1	0	3	12	1	1.7
医療面談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1
心理発達検査	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	4	0.3	1
らいふあつぶ															
新規利用登録	12	12	10	11	11	9	15	13	10	12	28	8	151	12.6	10.8
支援（本人・家族）	338	362	352	372	311	303	321	360	254	304	309	327	3913	326.1	304.5
職場実習等あっせん	6	11	17	19	13	6	12	17	10	13	17	3	144	12	10.2
就職件数	10	8	5	8	10	12	10	5	9	9	5	7	98	8.2	9.8
職場訪問による支援	58	75	73	87	85	79	66	63	55	44	47	75	807	67.3	63.8
地域包括															
総合事業	103	76	51	64	68	65	43	45	48	48	46	68	725	60.4	81.9
介護保険関係	277	261	338	319	262	277	350	268	275	231	188	236	3282	273.5	269.6
虐待	40	36	73	64	39	39	66	50.0	51	66.0	88	57	669	55.8	19.9
成年後見	23	29	29	24	45	50	20	32.0	19	19.0	25.0	37	352	29.3	22.5
介護保険外	7	16	13	19	15	9	21	27.0	14	22.0	8	1	172	14.3	20.5
介護保険予防マネジメント	234	295	184	230	245	209	235	261.0	229	271.0	240	236	2869	239.1	183.7